

日本理科教育学会九州支部大会発表論文集の原稿書式

平成18年度より、発表原稿は論文集として印刷することになりました。そのため大会事務局では、送られてきた発表原稿を完成原稿としてそのまま印刷・製本します。著者校正などの修正作業は一切行いませんのでご注意ください。

つきましては、以下の要領で論文集原稿の作成をお願いいたします。

1. 論文集原稿ページ数

1 発表あたり 2 ページまたは 4 ページ (1 ページまたは 3 ページでの執筆はご遠慮下さい)。

2. 論文集原稿書式

(1) 用紙はA4版縦置き、本文は横置き、原則として2段組(無理な場合は1段組)。

(2) 余白は、上下左右 25mm

(3) 体裁を整えるため、発表題目はゴシック 14 ポイント(副題は同 12 ポイント)で、発表者氏名からキーワードまでは 11 ポイント、本文は 10.5 ポイントで作成して下さい。題目は、副題を含めて 1~2 行目に記す。

(4) 発表者氏名は、題目の後 1 行あけて書き始める

(5) 共同発表の場合には、氏名と氏名の間を「,」で区切る

(6) 共同発表の場合には、当日の登壇者の氏名の前に「○」印をつける

(7) 発表者氏名の下の方に、氏名を英語表記

(8) 氏名の英語表記の下の方に、発表者の所属

(9) 共同発表で、所属が異なる場合には、(5)および(8)で記した発表者氏名の最後に上付文字で、A、B等を記し、(9)で記した所属と対応させる

(10) 題目、発表者氏名、発表者氏名の英語表記、所属は中央揃え(センタリング)

(11) 所属の後 1 行あけて、キーワード(最大 6 つ)を付する

(12) キーワードは【キーワード】という括弧書きの後に中央揃え(センタリング)で記す

(13) 題目からキーワードまでは 1 段組

(14) キーワードの下は 1 行あけて 2 段組で本文を書き始める

(15) 2 ページ目からは本文のみ

最終ページに例を示します。

- 氏名英字表記、所属、キーワードは氏名表記に準じてフォントを設定して下さい。この例では、MS 明朝 11 ポイント標準としています。

- 2 段組(本文)部分のフォント、ポイント、字数や行数などの書式詳細は、発表者に一任いたしますが、おおよそ 20~24 字×40~47 行×2 段程度を目安にして作成していただくと、全体の体裁が整います。最終ページの例は、本文は MS 明朝 10.5 ポイント標準 20 字×40 行×2 段としています。

(16) 引用文献の表記は、『理科教育学研究』の投稿規程に沿ってください。

余白は上下左右 25 mmで設定してください。

九州地区理科学力向上プロジェクトの取り組みと課題

－学習プロセスに着目して－

○佐賀 長崎^A, 熊本 鹿児島^B, 沖縄 宮崎^C, 大分 福岡^D

○Saga Nagasaki^A, Kumamoto Kagoshima^B, Okinawa Miyazaki^C, Oita Fukuoka^D
九州教育大学教育学部^A, 九州教育大学大学院教育学研究科^B, 九州小学校^C, 九州中学校^D

【キーワード】 九州, 理科の学力観, 学習プロセス, 理科授業

1. 背景と目的

九州では,

3. 結果

2. 方法

余白は上下左右 25 mmで設定してください。

4. 考察・結論

5. 今後の課題

附記

謝辞

引用文献

【原稿作成上の注意点】

- 余白は上下左右 25 mmで設定してください。
- 2ページ目からは本文のみ, 全体で2ページまたは4ページで作成してください。
- 作成した原稿にはページ番号を記載しないでください。(発表論文集作成の段階で, 改めてページ番号を付与します。)
- 印刷は白黒ですので, 白黒原稿で作成し, 実行委員会事務局までご送付ください。
- 発表題目はゴシック 14 ポイント(副題は同 12 ポイント)で, 発表者氏名からキーワードまでは 11 ポイント, 本文は 10.5 ポイントで作成していただくと, 論文集の体裁が整います。ご協力ください。
- 発表申し込み時と原稿提出時で, 発表論文題目や共同研究者(掲載の順序を含む)などが異なるケースが見受けられます。発表申し込み後、題目等に変更がある場合は, 原稿送付前に実行委員会事務局へお知らせ下さい。
- 原稿提出についても受理通知を送信します。受理通知が届かない場合は, 再度, 原稿を送信してください。